

第1回府中市市民協働推進会議 会議録

- 日 時 平成28年6月29日（水）午前10時～正午
- 会 場 市役所北庁舎3階第3会議室
- 出席者 (委員)
藤江会長、長谷部副会長、石坂委員、雄勝委員、奥村委員、志水委員、神野委員、関口委員、長島委員、松木委員、吉井委員
(事務局)
中川市民協働推進本部長、岩田市民活動支援課長兼市民協働推進担当主幹、松本市民活動支援課長補佐、金崎市民協働推進担当副主幹、新妻市民協働推進担当主査、佐藤事務職員
- 欠席者 なし
- 傍聴者 なし
- 議 事
 - 1 開会
 - 2 議題
 - (1) 平成27年度市民提案型協働事業報告会及び平成27年度協働に関する調査結果について
 - (2) 協働事業等評価対象事業の選定について
- 資 料
 - 1 平成28年度府中市市民協働推進会議の開催予定（案）（資料1）
 - 2 平成27年度市民提案型協働事業 事業概要（資料2）
 - 3 平成27年度協働に関する調査結果（資料3）
 - 4 平成27年度協働事業等評価候補事業一覧（資料4）

1 開会

(会長) 定刻になりましたので、第1回府中市市民協働推進会議を開会いたします。事務局から本日の委員の出席状況などについて、報告をお願いします。

(事務局) 本日はご多忙のところ、本会議にご出席いただき、ありがとうございます。それでは、事務局から何点かご報告を申し上げます。

昨年度、むさし府中商工会議所より、田中委員が選出されておりましたが、田中委員の退職に伴い、新たに石坂茂樹様が選出されましたので、ご報告いたします。

(会長) それでは石坂委員、一言お願いいたします。

(委員) 前任の田中課長の退職に伴い、委員を引き継ぎました。皆さまと意見交換をしながら、より良い会議としていければと思いますので、よろしくをお願いいたします。

(事務局) ありがとうございます。引き続き、事務局よりご報告いたします。本日の出席状況でございますが、委員の皆様全員に出席をいただいておりますので、本会議は有効に成立していることを併せてご報告します。

続きまして、本日の傍聴ですが、申込みはありませんでした。

(※事務局より資料の確認)

(会長) それでは、議事を進めます。前回2月22日に実施した平成27年度第4回目の会議の議事録につきましては、事前にご確認いただいておりますが、改めて修正等でお気づきになることはございますか。よろしいでしょうか。

それでは、第4回目の会議の議事録として確定させていただきたいと思っております。事務局は、前回の議事録及び資料を、市役所3階情報公開室、中央図書館、ホームページ等で公開するよう手続をお願いします。

2 議題

(i) 府中市市民協働推進会議の開催予定について

(会長) これより議題に入りたいと思っております。議題の1「府中市市民協働推

進会議の開催予定」について、事務局からお願いします。

(事務局) 議題1の「府中市市民協働推進会議の開催予定」につきまして、事務局よりご説明させていただきます。資料1「平成28年度府中市市民協働推進会議の開催予定」をご覧ください。

改めまして、昨年度は短い期間で評価制度についてご検討いただき、ありがとうございます。本年3月にいただいた答申を踏まえ、市として制度化し、全庁的に報告するとともに、説明会を開催し、評価シートの作成や振り返りを行うことなど、協働事業を実施している市民にも協力いただくよう、各課に依頼をいたしました。

さて、今年度の会議については、昨年度ご検討いただいた評価手法を用いて、具体的な協働事業の評価を行っていただくことが中心となっております。そのため、今年度の会議は、5回の開催を予定しております。

まず、第1回目、本日の会議でございますが、ゴールといたしましては、評価対象事業の選定を考えております。後程、評価対象事業の選定に当たって、市民提案型協働事業の報告会の様子や協働事業調査結果をご報告いたします。

続きまして、第2回及び第3回の会議を7月開催予定で考えております。第2回目の会議では、評価対象事業の事業主管課及び市民への、ヒアリングを行っていただくことを予定しております。

第3回目については、第2回の会議で行うヒアリングを基に、評価結果の共有及び第三者評価シートを作成いただき、個別評価を通して感じられたことなど、答申案のたたき台となるようなご意見をいただく予定です。

なお、評価対象事業の候補事業であります、平成27年度市民提案型協働事業につきましては、市民の負担軽減のため、5月26日に開催した報告会において、提案型協働事業選考部会員に、ヒアリングを行っていただき、第三者評価シートの案を作成していただきました。詳細は、議題の中でご説明いたしますが、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

第4回目につきましては、8月中旬に、協働事業等評価結果の答申案の確認及び意見の追加・修正と、平成29年度提案型協働事業の選

考結果及び答申案についての確認を行う予定です。

第5回目については、少し間が空きますが、平成29年2月頃に、評価対象事業の更新と次年度の取組についての頭出しを予定しております。なお、昨年度の会議の中でもございましたとおり、行動計画の評価については、進捗の管理が評価の中心となります。5回目の会議の中で、進捗状況についてご報告させていただき、状況を把握いただいたうえで、具体的なご提言をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、平成29年度につきましては、委員の更新の時期であるとともに、検討事項といたしましても、評価作業のほか、行動計画の見直しと市民協働の推進に関する条例について要否を含め、ご検討いただく予定でございますことから、非常にタイトなスケジュールとなることと考えております。

会議の内容につきましては、あくまでも現段階の案であり、評価対象となる事業数やヒアリングの状況等進捗状況により、変更の可能性がありますのでよろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。

(会長) 説明が終わりました。何かご質問はございませんでしょうか。それでは、ただ今説明のあった内容で決定することといたします。

(2) 平成27年度市民提案型協働事業報告会及び平成27年度協働に関する調査結果について

(会長) 続きまして、議題の3「平成27年度市民提案型協働事業報告会及び平成27年度協働に関する調査結果」について、事務局からお願いします。

(事務局) それでは、次の議題の頭出しとなります「平成27年度市民提案型協働事業報告会及び平成27年度協働に関する調査結果」についてご説明します。

報告事項は2点で、1点目が平成27年度市民提案型協働事業について、2点目が平成27年度協働に関する調査結果についてでございます。

まず、平成27年度市民提案型協働事業報告会からご説明いたします。昨年度、答申をいただきました市民提案型協働事業4事業について、5月26日に報告会を開催いたしました。

報告会には、各事業の報告を、提案団体及び市担当課に発表いただいた後、事業がどのように実施され、協働で実施した際の成果や課題等がどのようなものであったかなど、提案型協働事業選考部会員の皆様にヒアリングいただきました。

報告会終了後、ヒアリング結果を部会員の皆様に共有いただき、各事業の第三者評価シート（案）を作成いただきました。

なお、報告会とともに部会で評価作業を実施していただいた理由につきましても、先にご説明いたしました通り、再度提案団体の皆様にお集まりいただくのは市民の負担になること、また効率的ではないことから、報告会と併せて行っていただいたものでございます。重ねてご承知おきいただければ幸いです。

事業の概要についてご説明いたします。資料2「平成27年度市民提案型協働事業 事業概要」をご覧ください。

1件目の事業は、「府中市に冒険遊び場を」で、提案団体はNPO法人野外遊び喜び総合研究所で、市担当課は児童青少年課です。

事業概要は、子どもが自由に遊べる冒険遊び場や、遊びの重要性を伝える講演会、スタッフ向けの救急講習を実施するもので、付帯条件としては、リスク管理について、担当課と十分に協議を行ったうえで、事業を実施することと、事業費の精査、特に報償費について、市内のリソースを活用するなど、より一層の協働の視点を取り入れるよう、工夫することで行いました。

実施結果といたしましては、冒険遊び場イベントを3回実施するほか、基調講演、救急救命講習の実施及び調査を行ったものでございます。

総事業費等につきましては、印刷製本費等が当初予算に比べ大幅に減少したため、補助金を返還いただいております。

協働の効果といたしましては、団体の自主事業の際には実施していなかった講演会を新たに実施することができたこと、課題につきましても、役割分担及び情報共有が上手くいかなかったことが挙げられま

した。

続きまして、2件目の事業は、「命の讃歌コンサート」で、提案団体は命の讃歌コンサートの会で、市担当課は政策課です。

事業概要は、精神障害者や震災被災者、子ども、老人など、多様な団体が同じ一つのステージに立ち、命の大切さ、生きることの素晴らしさを歌とともに訴えるコンサートを実施するもので、付帯条件としては、事業費の精査、特に報償費の縮小を工夫することで行いました。

実施結果といたしましては、コンサートに353人の参加がありました。

総事業費等につきましては、謝礼金及び使用料が増額したため、補助金の返還はございませんでした。

協働の効果については、市の有する広報媒体を活用し、効果的なPRを行うことができたこと、課題につきましては、事業決定後から実施日までの期間が短く、市が企画段階からかかわることができなかつたため、協働による効果が少なかったことが挙げられました。

続きまして、3件目の事業は、「子育て応援イベントハッピー子育て～わが子のチカラを信じよう～」で、提案団体はポルトボヌールで、市担当課は子育て支援課です。

事業概要は、子育て中の親の悩みを共有・解決するためのワークショップと講演会の実施で、付帯条件は事業費の精査、特に報償費や使用料について、事業の継続・発展に向けて、担当課と協議の上工夫することで行いました。

実施結果といたしましては、付帯条件を踏まえ、会場や回数の見直しを行い、全2回のイベントを開催し、合計41人の参加がありました。

総事業費等につきましては、事業規模を縮小することにより、補助金を返還いただいております。

協働の効果としては、市のメール配信やちゅうバスへのチラシ掲示、プレスリリースなど、市の有する広報媒体を活用した効果的なPRができたこと、課題につきましては、付帯条件に伴う実施回数の変更により、団体の負担が増加したことなどが挙げられました。

続きまして、4件目の事業は、「超高齢社会の街づくりフェスタ」で、提案団体はNPO法人臨床研修支援協議会で、市担当課は高齢者支援課です。

事業概要は、市民や医療従事者など、多様な人同士のつながりを目的とした学習会や交流会の実施や、ミニ講演会やアトラクションを体験できるフェスタを実施するもので、付帯条件はございませんでした。

実施結果といたしましては、心肺蘇生講習会の実施、超高齢社会のまちづくりフェスタ、緩和ケア普及啓発事業、多摩の医療健康増進フォーラムを開催しました。

総事業費等につきましては、事業規模の拡大により、消耗品費及び印刷製本費が大幅に増加したものの、その他の経費で調整を行ったことから、概ね当初予算の範囲内で実施ができたとのことで、補助金の返還はございませんでした。

協働の効果につきましては、事業の実施に当たり、医療や介護等の福祉関係者から大きな協力を得ることができ、関係機関とのネットワークが広がったこと、課題につきましては、複数の関係者との連絡調整が難しかったことが挙げられました。事務局からは以上でございます。

(会長) ありがとうございます。評価の結果については、次の議題でお話しいただくとして、長谷部部会長から、報告会の様子について、感想等をお願いいたします。

(部会長) 評価に当たっては、「市との協働の意義を理解しているか」という点を一番のポイントとしました。団体単独で実施できるのであれば市との協働の必要性はなくなりますので、市担当課と定期的な打合せを行っているか、密な情報交換を行っているかという点を意識しました。

また、4つ目の「超高齢社会のまちづくりフェスタ 2015」でもあったように、より多くの関係する主体をいかに巻き込み、ネットワークを構築しているかという点も、協働事業においては非常に重要であると感じました。

資料からは読めない点としては、報告会では各事業の提案団体と市担当課の双方が出席されましたが、モデル事業となりうる事業は報告

の際も意見交換をしながら進めていたり、そうでない事業はあまり意見交換を行っていなかったりと、報告の場で、各事業の主体同士の関係性を見ることができました。

(会長) ありがとうございます。何かご質問はございますか。

(委員) 市民提案型協働事業は、評価対象とするのでしょうか。

(会長) この後の議題で行う、評価対象事業の選定の際に協議することとなります。

(委員) 評価対象事業とするかどうかの選定はこの後行いますが、評価作業自体はすでに終了しているということでしょうか。

(会長) 現在行っているのは報告会の説明ですので、各事業の具体的な評価内容については、この後、他の事業と併せて議論したいと思います。

続きまして、平成27年度協働に関する実績調査について、事務局からお願いします。

(事務局) それでは、「平成27年度協働に関する調査結果」についてご説明します。資料3をご覧ください。

当該調査は、平成27年度の協働に関する実績調査でございまして、地縁型活動団体、目的型活動団体、教育機関、企業・事業者と、市との協働状況に加え、後援及び政策形成への市民等の参画状況について、「府中市市民協働の推進に関する基本方針」に基づき、集計・整理したものでございます。

なお、この協働事業実績調査につきましては、平成25年度に実施した、平成24年度実績調査より調査内容を見直しつつ、継続実施しているものでございます。

まず、集計結果の概要でございしますが、協働の形態が「事業協力（市民主権事業）」、「補助」、「共催」、「実行委員会・協議会」、「事業協力（市主催事業）」「委託」に関するものについては、144事業153件でございます。

なお、昨年度の件数より11事業増えておりますが、理由といたしましては、今回の調査を実施するに当たって、評価制度の実施とあわせ、庁内向けの説明会を開催しまして、改めて基本方針を確認していただくとともに、記載いただいている事業が、「市民と市が情報を共有し、相互の立場や特性を認めつつ、対等の立場で、それぞれの役割

を果たし、共通する課題の解決や社会的な目的の実現に向けて、公益的な価値を相乗的に生み出すために連携・協力している事業」なのかを確認してほしい旨をお伝えし、各課において考え方を整理していただいたことから、これまでも協働で事業を実施していたが提出していなかった事業があったものが多くございました。

協働事業に関する調査結果については、事務局からの説明は以上となりますが、参考1に今回の調査の詳細を添付しておりますので、必要に応じてご確認くださいようお願いいたします。

(会長) ご質問等はございますでしょうか。

(委員) 減った件数はどれくらいあるのでしょうか。

(事務局) 事業数は11事業増えておりますが、件数に変わりはありません。

(委員) 参考1の資料の見方について、赤字と黒字の違いは何でしょうか。

(事務局) 赤字の事業は追加事業となります。なお、事業数としては24事業追加となっておりますが、平成27年度の新規事業は3事業で、21事業は、主管課の回答漏れによるものです。また、見直しの結果、13事業が取り下げとなる等、各課で整理がなされております。

(委員) 資料3は、どのように見ればよろしいのでしょうか。昨年度よりも協働事業が増えており、良くなっていることを伝えるものなのでしょうか。

(事務局) 当該資料については、平成27年度の実績について各課に照会をかけ、取りまとめた結果となりますが、昨年よりも協働の事業数が増えている等、様々な見方ができると思います。

(委員) 協働の形態等で大きな変化はなかったが、各課で見直した結果、事業数が増えたということで、職員が協働に積極的になってきたという幕開けが分かる資料ということでしょうか。

(事務局) 現在、庁内で把握している協働事業にはどのような事業があるかを把握するための基礎資料であると考えていただければと思います。

(会長) 現状認識のための資料ということでご理解いただければと思います。それでは、議題の(1)「平成27年度協働に関する調査結果」につきましては、評価制度検討の頭出しとのことですので、了承とさせていただきます。

(3) 協働事業等評価対象事業の選定について

(会長) 続きまして、議題の3「協働事業等評価対象事業の選定」について、事務局からお願いします。

(事務局) それでは、「協働事業等評価対象事業の選定」について、ご説明します。昨年度いただいた答申を踏まえて、市として制度化する中で、協働事業等評価の実施について、先に報告した協働事業実績調査の実施とともに、庁内向けに説明会を開催いたしました。

説明会では、協働事業等評価が、よりよい事業とするためのものであることを説明したうえで、今後、全ての協働事業について、評価シートを作成いただくことを依頼いたしました。

ただし、年度途中からの実施となりましたことから、平成27年度に開催した全ての協働事業の相互評価シートの作成を依頼するのは、協働事業を実施しているパートナーである市民からの理解も中々得られづらいことから、市がパイロット事業として進めたい事業や市民提案型協働事業を中心とさせていただき、平成28年度事業からは全ての協働事業について相互評価シートを提出いただくことといたしました。

併せて、各課において事業を進める中で、協働相手である市民の皆さまにも、協働事業評価制度の開始と評価シートの作成について、ご説明いただくよう、依頼をいたしました。

資料4をご覧ください。市がパイロット事業として進めたい事業として、絞り込みを行った事業が17事業、さらに、市民提案型協働事業4事業、計21事業から、事業数の検討も含め、評価対象事業を選定いただきたいと考えております。

なお、市民提案型協働事業については、4事業すべてを評価対象とするかについても併せてご検討くださいますようお願いいたします。具体的な事業については資料のとおりでございますので、説明を割愛させていただきますが、事業一覧の後ろに候補となる事業の概要と提出のありました相互評価シートを添付してございますので、適宜ご参照ください。

なお、市がパイロット事業として進めたい事業17事業の選出方法につきましては、各課において、より積極的に協働事業として進めて

いきたいといった意向を踏まえて選出したものでございます。

なお、今後のスケジュールですが、議題1の今年度のスケジュールでもお伝えいたしましたとおり、今回の会議で選定いただいた評価対象事業については、第2回・第3回の会議で評価作業を行っていただきます。

評価対象事業数にもよりますが、2チーム程度に分かれてヒアリングを行うことを想定していますので、よろしくお願いたします。

参考までに、今月開催されておりました府中市議会において、「市民協働の更なる推進、充実を願って」として、2年間の市民協働の主な取組などについて、一般質問がございました。

市民提案型協働事業をモデル事業として実施するほか、市民協働事業等評価制度の構築等を行った旨をご説明いたしまして、特にこの評価制度が全ての協働事業を評価対象としており、自己評価・相互評価・第三者評価を実施しているのは26市では初めてであること、協働事業をより良いものに成長・充実させることを目的に実施することなどをご説明したところ、評価結果等についても大変期待していると評価いただきましたので、ご報告します。

なお、制度化いたしました評価シート等につきましては、参考2、参考3に添付しております。いただいた答申から大きな修正はございませんが、市の文書審査で常用漢字等の調整を行いましたので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。事務局からは以上でございます。

(会長) 説明が終わりました。府中市議会でも、この評価制度について、期待されているとのことでしたので、市民の期待に応えられるよう、取り組みましょう。

進め方についてですが、まず、平成27年度市民提案型協働事業の評価について、長谷部部会長からご説明いただいた後、質疑応答、その後、評価対象事業の選定について、検討したいと思いますがよろしいでしょうか。それでは、長谷部部会長お願いいたします。

(部会長) 平成27年度の市民提案型協働事業の評価について、ご説明いたします。

「府中市に冒険遊び場を～子どもが遊びこめる環境づくりとそれ

を支える市民の育成～」については、「D:協働事業として取り組むにはかなりの改善が必要である」と評価いたしました。理由といたしましては、協働への理解を深め、「相手を尊重する」という姿勢が若干不足していたため、まず、「相手を尊重し合う関係づくり」のため、事業計画段階から組織や制度等の違いを話し合い、歩み寄りを行うなど、協働の目的を考えていただく必要があるためでございます。

「命の讃歌コンサート」については、「B:協働事業として適切であるが、一部改善することで、更なる発展が期待できる」と評価いたしました。理由といたしましては、事業実施までの期間が短く、市担当課の役割が限定されてしまったものの、若い世代への周知に当たってPR方法を工夫するなど、明確な役割分担に基づき事業を実施していたためでございます。

「子育て応援イベント『ハッピー子育て～わが子のチカラを信じよう～』については、「C:協働事業としておおむね適切であるが、一部改善の必要がある」と評価いたしました。理由といたしましては、団体としての経験が浅く、事業の企画や会場の設定、集客、市との調整等に課題が残ったことがございます。事業を継続して実施することで着実に実績を作っていくとともに、市との協働による事業の進め方について学ぶ必要があるためでございます。

「大型総合イベント「超高齢化社会の街づくりフェスタ2015」については、「A:協働事業として適切で優れていると評価できる」としました。理由といたしましては、福祉分野における市内の多様な専門職を含めた「複数の主体による協働事業」にも関わらず、十分なコミュニケーションのもと、それぞれの特性や長所を生かした効果的な役割分担に基づいた事業展開ができていたためでございます。

吉井委員や石坂委員のご意見も伺いたいのですが、私といたしましては、報告会で質疑応答をした結果など、市民の皆さんも知りたいのではないかと思いますので、市民提案型協働事業4事業を評価対象としていただきたいと思いますと考えておりますが、いかがでしょうか。

(会長) 長谷部部長ありがとうございます。吉井委員や石坂委員、いかがでしょうか。

(部会員) 事業ごとに作成された相互評価シートを見ているだけでも、上手く

いっているかどうか、協働を理解しているかどうか等を文章から読むことができました。二極化されたことが分かる報告会でした。

(部会員) 今回初めて参加させていただきましたが、他の委員の方の話にもありましたとおり、団体と市担当課が密に連携できている事業とそうでない事業に差がありました。それぞれの事業に課題はあったと思いますが、次年度以降のことを視野に入れて評価させていただきました。

やはり、超高齢者社会のまちづくりフェスタについては、非常に完成された事業であったため、商工会議所の事業でも参考にしたいと思いました。

(部会長) ありがとうございます。各事業についての部会員からの意見や、評価の結果については、市民も知りたいものと思いますので、4事業全てを評価の対象としたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(会長) 部会長から4事業全てを評価対象としたいとありましたが、よろしいでしょうか。

(委員) この4事業を評価対象とするかどうかを決める前に、まずは評価対象事業全体の割合について協議した方が良いと思いますが、いかがでしょうか。

(会長) 本会議の人数にも限りがあり、数十事業を評価するのは難しいと思われるので、10事業前後が妥当ではないかと思っております。したがって、市民提案型協働事業の割合は4割と考えております。

市民提案型協働事業につきましては、4事業を対象とすることで、よろしいでしょうか。

(委員) 実際に報告会を傍聴した結果、各事業の課題等を肌で感じることができました。4事業はA～Dの評価が綺麗に揃っておりますし、全ての事業において、協働で実施する際に発生しがちな課題等が見えたことから、4事業全て対象とすることに賛成です。

(委員) 市民提案型で実施した団体は、協働という視点で評価されることをあらかじめ知っていたのでしょうか。

(事務局) 事前の申請時に、公開による審査や報告会があることは伝えております。

(委員) 協働という視点では低い評価であっても、事業として見れば良いものもあるので、協働の評価と事業の評価が混在しているように思いま

す。

(部会長) 審査の段階から、当該制度では協働の意義を重視するということは伝え続けています。事業としての評価で考えると、今回の評価とは異なる評価が出てくるかと思いますが、当該制度で重視すべき点は協働の意義であると考えています。

(委員) 数少ない府中市内のやる気のある人たちの気持ちを削がないようにしなければいけないと思いました。

(会長) ありがとうございます。それでは、市民提案型協働事業につきましては、4事業を対象といたします。

次に、協働事業17事業からどの事業を選定するか検討したいと思います。次回以降、本会議の委員で評価作業を行うに当たって、評価対象事業数としては全体で10事業程度が妥当ではないかと考えられますが、よろしいでしょうか。

それでは、17事業の中から残りの6事業を選定するというところで、選定方法等についてご意見はございますでしょうか。

(委員) 良い事業と悪い事業など、両極端のものを選ぶのが良いと思います。

(会長) 事業の良し悪しは、相互評価シートにおける点数で判断するというのでしょうか。

(委員) 数字で見るのが良いと思います。

(委員) 確認なのですが、評価対象事業の選定後、委員が数人ごとに分かれて評価を行い、その結果を全員で共有して次年度以降反映していくということでよろしいでしょうか。

(会長) その認識で問題ありません。

(委員) 各事業の相互評価シートを見ていると、4～5点の点数が付いている事業や2～3点の点数が付いている事業、市民と市の点数に差がある事業等、様々なものがありますが、良い点数が付いている事業は評価の必要がないのではないのでしょうか。上手くいっている事業よりも、そうでない事業からの方が、得るものは多いと思います。

(委員) 良い事業とそうでない事業の、両方の材料が見えた方が、評価対象としては良いのではないかと思います。

(委員) 市の担当課が重複しないよう、それぞれ1つずつ当たるように選定すると良いのではないかと思います。

(会長) まずは市の担当課が重複しないように選出し、その後異なる視点で絞り込んでいくとの意見でしたが、いかがでしょうか。相互評価シートの中で、課題等をしっかりと記載していただいている事業も良いと思います。

委員から出た意見を視野に入れて、まずは資料4に記載の福祉保健部の事業について、事務局から意見はございますでしょうか。

(事務局) 今回は初めての評価となりますことから、まずは協働相手との信頼関係が構築されているものや、協働事業として市民が理解しやすいもの、協働の形態・分野に偏りのないものが望ましいのではないかと考えております。福祉保健部における事業としては、相互評価シートに具体的な記載のある「WaiWai フェスティバル」は良い事業ではないかと考えております。

(会長) 委員の参考にもなると思いますので、その他の事業についても、部課ごとに、事務局として評価対象事業になりうる事業がありましたら、教えてください。

(事務局) 環境政策課の事業としては、「水辺の楽校推進事業」が評価対象になりうると思われれます。この事業は、市民と市が相互に連携し、多摩川という身近な自然環境に触れる機会を提供するものとなっております。相互評価シートにおいても充実した事業であったことを伺うことができるとともに、一方では、反省点が相互に共有できていない等の課題やその解決策も記載されていることから、第三者評価を行っていただくことで、より良い協働事業につながっていくのではないかと考えております。

なお、「多摩川清掃市民運動」は、「水辺の楽校推進事業」同じように反省点を共有できていないという課題がありますが、実行委員会の回数を増やす等、すでに解決に向けて具体的な行動に移しています。

また、「水辺の楽校推進事業」は通年をとおして複数回の実施され、「多摩川清掃市民運動」は1日のみの実施という違いがあります。

なお、同じ生活環境部内のごみ減量推進課においても事業が2つございます。環境政策課の事業はどちらもイベントですが、「地域ごみ対策推進事業」は啓発事業となりますことから、異なる事業形態といった観点から、候補事業になるうるのではないかと考えられます。

(会長) ありがとうございます。続いて、文化振興課の事業はいかがでしょうか。

(事務局) 「市民芸術文化祭」は長期間の事業、「市民文化の日」は1日のみの事業という違いはありますが、どちらも同様にイベントという特徴があり、対象事業になりうると思われま

(委員) 協働先に事業者が含まれているというのが府中市の協働事業の特徴であると思われま

(会長) まずは市の担当課が重複しないように事業を絞ったうえで、協働先の多様性等、他の視点を入れてさらに絞っていきたく

文化振興課の事業については、相互評価シートを見ると「市民芸術文化祭」は4点、「市民文化の日」は3点となっており、良い事業を選ぶという観点で言うと、「市民芸術文化祭」が対象となりうるのではないかと思われま

続いて、児童青少年課の事業についてはいかがでしょうか。

(委員) 2つの事業には共通点があり、「青少年健全育成強調事業」は11地区ごとに個性を生かした内容で実施しており、「放課後子ども教室」も団体によって取組内容や質が異なりますので、どちらを選ぶかは難しいと思

(委員) 「青少年健全育成強調事業」は平成28年度で廃止とありますが、協働という形態での実施ではなくなるということでしょうか。

(事務局) 補助金を活用し、団体の自主活動の中で実施していくとありますので、協働の形態が変わるという意味です。

(委員) 協働事業の中でも、成功例の到達地点なのかと捉えていたのですが、そうではないということなの

(事務局) 主管課より、平成29年度までにさらなる協働化に向けて取り組んでいきたいとの回答をいただいていることから、さらなる協働の発展が見られる事業ではないかと考えてお

(会長) 協働先が複数あるという点において両事業とも難しさがありますが、ひとまず保留とさせていただき、次の事業の検討に移りたいと思

続いて、市民活動支援課の事業について、事務局としてはいかが

しょうか。

(事務局) いずれの事業も成功例と言えますが、中でも「府中市民桜まつり」が評価対象になりうると考えております。当該事業の実施に当たっては、計画段階からコミュニティ協議会の方々に積極的に関わっていただいております、市との明確な役割分担に基づき実施していることから、市民協働の好事例と捉えております。

(会長) ありがとうございます。市民協働の好事例とのことでしたが、よろしいでしょうか。

ここまで、「WaiWai フェスティバル」、「水辺の楽校」、「市民芸術文化祭」、「府中市民桜まつり」が、担当課の重複がない事業として、候補に挙がっております。

なお、先ほど保留にしていた児童青少年課の事業をどうするか、また政策課の事業は点数が付いておりませんが、経済観光課の事業についても検討の必要があります。

添付書類を見ると、「農業まつり」と「農産物品評会」は同じ用紙に役割分担が記載されていますが、同じ事業なのでしょうか。どのような切り分けがされているのでしょうか。

(委員) 相互評価シートに、役割分担表を添付してくださいとあるので、それに基づいて添付された資料であると思います。

(会長) 異なる事業であるということで、理解しました。

(事務局) 「農産物品評会」は、事業計画段階では協働先の関わりがないという特徴があります。なお、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業」は点数が0点となっておりますが、計算の誤りで、正しくは5点となります。

(会長) 今現在決定している事業以外の中から、新しい観点で対象を絞っていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員) 市民と市の点数に差がある事業で、「農業まつり」や「放課後子ども教室」も良いのではないかと思います。

(会長) 児童青少年課の事業はともに協働先が複数あるため、7月のヒアリングに当たっては、限られた時間の中で全ての団体にヒアリングを行うのは難しいという課題があるかと思います。

(事務局) 全ての協働先を呼ぶことは物理的に難しく、各団体が独自の内容で

事業を行っていることから、ヒアリングを実施する団体の選定も難しいと思います。

(会長) 公平性を考慮し、「青少年健全育成強調事業」と「放課後子ども教室」は対象から外すということで、よろしいでしょうか。

協働先が複数いる事業の評価方法については、今後本会議において検討していく必要があると思います。

市民と市の点数に差がある事業という観点では、「農業まつり」が候補として挙がっておりましたが、対象事業とすることで、よろしいでしょうか。

環境政策課と同じ生活環境部にはなりますが、ごみ減量推進課の「地域ごみ対策推進事業」も1つの候補となっております。2課の業務内容にはどのような違いがあるのでしょうか。

(事務局) ごみ減量推進課の業務内容は主にごみ減量の推進に係る業務、環境政策課は環境保全や騒音対策、害虫駆除等、同じ部ではありますが、課としては異なる業務内容となっております。そのため、「地域ごみ対策推進事業」を対象としても、課の重複はありません。

(会長) 「地域ごみ対策推進事業」を対象とすることで、よろしいでしょうか。

それでは、議題の(3)「協働事業等評価対象事業の選定」については、市民提案型協働事業は4事業、協働事業からは「WaiWai フェスティバル」、「水辺の楽校」、「地域ごみ対策推進事業」、「市民芸術文化祭」、「府中市民桜まつり」、「農業まつり」の6事業、計10事業とすることで、了承とさせていただきます

事務局は、早急に対象となる事業の担当課等へ連絡するようお願いいたします。また、第2回目の出欠状況等も事務局が把握していると思いますので、委員の構成が偏らないよう、グループ分けも併せて行い、次回の実施方法など、速やかに連絡するようお願いいたします。

グループ編成に当たっては、各グループ内でチーフとなる委員も必要になるかと思っておりますので、その点も含めて、会長、副会長に一任していただければと思います。委員の皆さまには、確定次第、ご連絡させていただきます。

他に意見等はございますでしょうか。

(委員) 市民提案型協働事業の評価に当たっては、制度への反映も視野に入

れて、会議の中で検討していきたいと考えています。

(会長) 第三者評価をとおして、制度に反映していければと思います。

3 その他

(事務局) それでは、事務局より2点ございます。1点目は会議の日程についてで、2点目は平成28年度提案型協働事業選考部会の委員についてでございます。

冒頭お伝えいたしましたとおり、第2回・第3回の会議を7月に、第4回目の会議を8月に開催したいと考えておりました。委員の皆様には日程の希望調査について、ご回答いただきありがとうございました。出席できる方の多い日程から考えますと、第2回目につきましては、7月13日(水)午前10時から、第3回目につきましては7月25日(月)午後2時から、第4回目につきましては、8月17日(水)午前10時からとなりますが、日程について、ご判断くださるようお願いいたします。

2点目は平成28年度提案型協働事業選考部会の委員についてでございます。平成27年度につきましては、平成25年・26年に設置しておりました市民協働推進協議会の委員として、市民協働の取組の経緯や制度内容についてご検討に携わっていただいた経緯から、長谷部委員、吉井委員、そしてここでメンバーの変更がございましたが、商工会議所から昨年度は田中委員、先の報告会では石坂委員にお願いしてまいりました。

今回、日程等の都合上、石坂委員のご出席が難しいことがございましたことから、石坂委員に代わり、新たな委員の選出をお願いしたいと考えております。

なお、部会につきましては、「府中市市民協働推進会議規則」第5条により、「推進会議の部会に属すべき委員は会長が指名すること」となっておりますので、よろしくお願いいたします。また、今年度の部会の開催は、あと1回、8月上旬、4回目の会議開催前に開催を予定しております。以上でございます。

(会長) 提案型協働事業選考部会の新たな部会員の選出をお願いしたいと事

事務局からございました。昨年度の部会員の選出の理由が、市民協働の取組の経緯や制度内容についてご検討に携わっていただいていた経緯等もご存じであるということであれば、長島委員が適任と思われませんが、いかがでしょうか。事務局案はありますか。

(事務局) 事務局といたしましても、協働の事例などもよくご存じである長島委員にお願いできればと考えております。

(会長) 異論がなければ、長島委員にお願いしたいと考えますが、いかがでしょうか。

(※異議なしの声あり)

(会長) それでは、新たな部会員として長島委員よろしく願いいたします。そして、石坂委員は報告会での評価、ありがとうございました。また、引き続き長谷部部会長、吉井委員、よろしく願いいたします。

先にご報告のありましたとおり、会議の日程の確認をいたします。次回の会議は7月13日、第3回の会議は7月25日、第4回の会議は8月17日とします。

以上をもちまして、府中市市民協働推進会議を閉会いたします。お疲れさまでした。

以上